

令和 6 年度

住吉小学校 3 年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：みんなが暮らしやすい町
(活動名)

ねらい：

- ・西東京市の施設において、市民が暮らしやすい工夫（バリアフリー・ユニバーサルデザイン）があること知り、西東京市のよさに気付く。
- ・自分たちの住む地域の安全について関心をもち、安全に行動できるようにするとともに、安全安心な町とは何かを考える。

【公共施設の見学～ひばりが丘図書館・ひばりヶ丘駅・保谷庁舎～】（11 月 21 日、26 日）

西東京市の公共施設を見学し、どんな人に対する、どんな設備（バリアフリー・ユニバーサルデザイン）があるのかを施設の方々に教えていただきました。

点字ブロックの形の違いや、ユニバーサルデザインのものを紹介していただき、子どもたちからは、「普段何気なく利用している施設に、多くの『みんなが暮らしやすい工夫』があって驚いた。」「今度、西東京市の他の施設に行った時にも、同じ設備があるか確かめたい。」など、市民が暮らしやすい様々な工夫があることを知り、改めて西東京市のよさを感じることができました。



【ハンディキャップサービス講習】

(11 月 28 日)

中央図書館と谷戸図書館の方をお招きして、目や耳が不自由な人も読書を楽しめるサービス（ハンディキャップサービス）について詳しく教えていただきました。「手で読む絵本」に触ったり、助聴器に耳を当てて音を聞いてみたりして、使い方を体験しました。

図書館は施設だけでなく、サービスにも「みんなが暮らしやすい工夫」がたくさんあると知ることができました。



【「地域安全マップ作り」のためのフィールドワーク（1月28日）】

地域安全マップ指導員の方と西東京市総務部危機管理課の方と一緒に、フィールドワークを行いました。地域安全マップ指導員の方から、犯罪が起きやすい（入りやすい、見えにくい）注意が必要な場所や、安全な場所のポイントをお聞きして、自分たちの家の周りの道路を歩いて確かめました。

いつも何気なく通っている道を注意して確認することで、さらに安全に暮らすことができると気付きました。



【地域安全マップ作り】

フィールドワークをして分かった、「注意が必要な場所」「安全な場所」をポスターにまとめました。さらに、まとめたポスターを示して、班ごとに発表しました。



まとめ コラム

3年生の西東京ふるさと探究学習は、自分たちが暮らす身近な場所に目を向け、「人・もの・こと」について知識を増やし、気付きを広げていきました。様々な人がいること、その人たちが暮らしやすい工夫がいろいろな場所にあることを知ることができました。この学習は、自分たちがこれからも暮らしていく地域について新たな見方で見つめるきっかけとなりました。今後は、この新たな視点で地域を見つめ直し、自分たちにできることを考える学習を進めていきたいと思います。